

マイコプラズマ肺炎

2016年30週の県全体の定点当たり報告数は、29週の0.56から増加し1.11となった。マイコプラズマ肺炎は、要因は不明だが周期的に流行し、秋から冬期に多く、初夏にやや増加する年もあると報告されている¹⁾。千葉県でも2012年に大きな流行があったこと、増加傾向であることから、2010年～2016年30週に報告された1,188例の発生状況をまとめた。

性別は、男性598例(50.3%)、女性590例(49.7%)であった。

年齢群別では、5～9歳500例(42.1%)、5歳未満329例(27.7%)、10～14歳243例(20.5%)が多い。

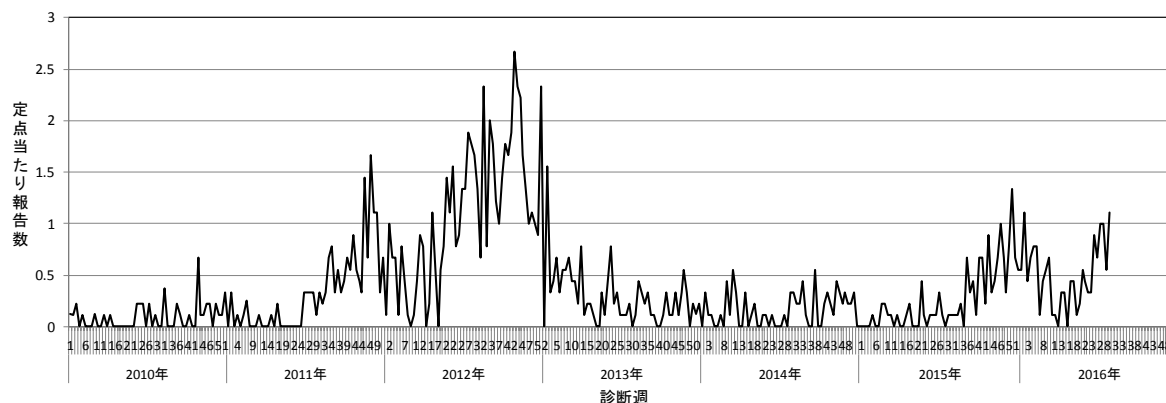
検査方法として報告されたのは、抗体検出1,061例(89.3%)、核酸検出(PCR・LAMP等)67例(5.6%)、抗原検出46例(3.9%)、記載なし8例(0.7%)、その他3例(0.3%)、電顕2例(0.2%)、塗抹検鏡1例(0.1%)であった。

参考

- 1) 国立感染症研究所 マイコプラズマ肺炎

URL:<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/647-disease-based/ma/mycoplasma-pneumonia/idsc/iasr-topic/2703-tpc392-j.html>

2010年～2016年30週千葉県のマイコプラズマ肺炎定点当たり報告数



2010年～2016年30週千葉県のマイコプラズマ肺炎年別・性別・年齢群別報告数

	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		合計		
	報告数	%	報告数	%	報告数	%	報告数	%	報告数	%	報告数	%	報告数	%	報告数	%	
性別	男性	22	51.2	89	57.8	255	49.2	70	51.9	32	42.1	56	44.4	74	54.4	598	50.3
	女性	21	48.8	65	42.2	263	50.8	65	48.1	44	57.9	70	55.6	62	45.6	590	49.7
年齢群	5歳未満	12	27.9	37	24.0	140	27.0	43	31.9	24	31.6	35	27.8	38	27.9	329	27.7
	5～9歳	15	34.9	78	50.6	223	43.1	59	43.7	22	28.9	42	33.3	61	44.9	500	42.1
	10～14歳	13	30.2	26	16.9	101	19.5	25	18.5	21	27.6	30	23.8	27	19.9	243	20.5
	15～19歳	0	0.0	4	2.6	20	3.9	3	2.2	4	5.3	11	8.7	7	5.1	49	4.1
	20代	0	0.0	3	1.9	10	1.9	1	0.7	4	5.3	3	2.4	2	1.5	23	1.9
30代	0	0.0	0	0.0	8	1.5	1	0.7	1	1.3	1	0.8	0	0.0	11	0.9	
40代	2	4.7	5	3.2	9	1.7	1	0.7	0	0.0	3	2.4	0	0.0	20	1.7	
50代	0	0.0	0	0.0	5	1.0	2	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	0.6	
60代	0	0.0	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1	
70代	1	2.3	1	0.6	1	0.2	0	0.0	0	0.0	1	0.8	0	0.0	4	0.3	
80代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.7	1	0.1	
合計	43	100.0	154	100.0	518	100.0	135	100.0	76	100.0	126	100.0	136	100.0	1188	100.0	